

contents

はじめに	3
この本の構成	8
この本の利用法	9



第1章

地震・火災時にも使える

緊急対応時の必須フレーズ

1…倒れている・状態の悪い患者さんに声を掛ける	12
2…災害時に患者さんを誘導する	13



第2章

伝わることが実感できる

全職種対応・厳選フレーズ

1…患者さんと話す	18
2…患者さんに伝える・確認する	24
3…患者さんに依頼する	27



第3章

すぐ使いたいフレーズが満載

職種別シーンマニュアル



I 受付事務……30

- 1…総合案内窓口 30
初診案内・道案内…30
- 2…外来電話予約 36
- 3…外来窓口 42 ◎東大病院の診療科名称 49
- 4…入院窓口 50
 - ①入院手続き案内…50
 - ②入院時…58 ③退院時…66
- 5…検診窓口 72
 - ①来所時・受付時・ロッカー案内…72
 - ②終了時…80 ◎東大病院の主な施設・設備名称 85

II 看護師……86

- 1…外来 86
 - ①問診…86 ②遅延案内…90
 - ③注射処置…94 ④呼吸訓練…102
- 2…入院 106
 - ①入院時案内・リストバンド装着案内・入院時
情報聴取…106 ◎病室、病棟の設備・備品名称 117
 - ②入院中の会話…118 ◎一般的な症状一覧 125
 - ③退院時案内…126 ◎時間・単位・回数の表現 131
- 3…手術 132
 - ①術前訪問…132
 - ②入室・退室…142 ◎手術室の設備・備品名称 149



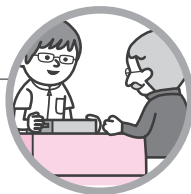
Ⅲ 薬剤師……150

1…お薬窓口 150

◎現場での服薬指導に役立つ表現 155

2…持参薬確認 156

◎外国人旅行者に処方頻度の高い薬剤一覧 161



Ⅳ 臨床検査技師……162

採血・心電図・呼吸機能検査・腹部エコー 162



Ⅴ 診療放射線技師……180

胸部撮影・骨撮影・

CT撮影・MRI撮影(腹部) 180

Ⅵ リハビリテーション療法士……194

PT・OT・ST…194

◎病院内職種一覧 203



Ⅶ 歯科衛生士……204

抜歯後の口腔ケア・周術期オーラルマネジメント…204

◎歯の名称 210

第4章

話せなくても理解しあえる

指さしイラスト



①コミュニケーション項目一覧 212

②人体部位の名称一覧 214

③症状一覧 216

④痛み一覧 218

⑤アレルギー項目一覧 220

⑥入院生活のルール一覧 222

⑦持ち込み禁止品一覧(手術前) 224

⑧手術時体位一覧 226

⑨持ち込み禁止品・確認項目一覧(MRI撮影) 228

⑩薬剤の剤形と使用方法一覧 230

⑪リハビリで用いる自主トレーニング例 231

この本の構成

この本は、次の全4章で構成されています。

第1章 | 地震・火災時にも使える 緊急対応時の必須フレーズ

災害が発生した際、すべての患者さんを正しく誘導することが求められます。ここでのフレーズを習得することで、有事の際に混乱せず落ちついて対応できるようにしました。

第2章 | 伝わることが実感できる 全職種対応・厳選フレーズ

いくらマニュアルを丸暗記しても、状況が少し違ってしまおうと対応できない、ということはよく起こります。ここでは病院内で使用する頻度の高いフレーズを列挙し、そのフレーズ内の単語を入れ替えることでコミュニケーションがとれるようにしました。

第3章 | すぐ使いたいフレーズが満載 職種別シーンマニュアル

いつも同じように説明していることでも、英語になると困ってしまう、ということはよく起こります。ここでは職種ごとに頻度の高いシーンを、実際の東大病院の内容・説明手順に基づき掲載することで、皆さんの日々の業務に活用できるようにしました。

第4章 | 話せなくても理解しあえる 指さしイラスト

外国人の患者さんとうまくコミュニケーションがとれない時、イラストを利用することでスムーズに対応できることがあります。ここでは言葉が話せなくても患者さん・職員が互いにイラストを指さしすることでコミュニケーションをとれるようにしました。